

## 2-16 フラッグフットボール体験会の開催による地域内外交流イベント

### ／特定非営利活動 西宮フットボールクラブ

活動地域	西宮市
協働団体	アスレチックリエゾン西宮
事業の 目的・趣旨	<p>我々は、子どもたちを育むことを理念に市政展開する西宮市において、フラッグフットボール体験を通じて、子どもの健全育成とともに地域社会のコミュニケーション強化を図り、社会育成の推進に貢献したいと考えている。</p> <p>競技やレッスン中は子どもや保護者たちとともに楽しみ、アメリカンフットボール、フラッグフットボールの面白さを理解してもらおう。本事業に参画したすべての人が兵庫県内の地域づくりや人づくりの核となるよう体験会を開催する。</p>
事業内容	<p>西宮市及び周辺地域の小学生を対象に開催し、事業運営のマニュアルを制作し、ルール等を速やかにインプットする仕組みを作る。場所は、西宮中央体育館中央球技場。</p> <p>8月6日にキックオフミーティングを行い、参加スタッフ等を確定した。</p> <p>8月22日に企画会議を行い、SNSへの発信・チラシ配布などの広報活動を計画した。</p> <p>10月31日に体験会を実施。参加者には記念品等を贈呈した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保護者の参加は極力、辞退いただいた。</p> <p>1月30日に報告会を実施。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、縮小した。保護者の参加は極力、辞退いただいた。感想文をもらった。</p> <p>フラッグフットボールは「タックル」の代わりに、プレーヤーの両腰につけた「フラッグ」を取ることから「フラッグフットボール」という名前となった。</p> <p>「速く走る」「パスを捕る」だけではなく、「作戦を考える」「相手の攻撃を分析する」など、単に運動能力の高さだけではない活躍の場面が沢山あります。この「それぞれの得意を組み合わせることで成功を目指す」という考え方は、現在社会で求められる多様性にもつながる。</p> <p>作戦図の中にはみんなの動きを書き、運動が得意な子は苦手な子の役割も考えるようになり、運動が苦手な子には活躍の機会が登場する。チーム全員で作戦を成功させるスポーツである。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	8	6	西宮市内	キックオフミーティング (リモート開催)	10	
		8	22	西宮市内	企画会議 SNS 発信、チラシ制作など予定 (リモート開催)	5	48
		10	31	西宮市内	体験会開催	11	64 (再掲)
	4	1	30	西宮市内	活動報告会		
目標の 達成状況	<p>参加小学生 20名以上目標 16名 80%</p> <p>子育て世代参加者 20名以上目標 10名 50%</p> <p>感想文掲載 10件以上目標 5件 50%</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保護者の参加は極力、辞退いただいた。</p>						
事業効果	<p>我々は地域社会貢献活動として今後も永続的に本事業を遂行していくので、本事業が地域文化となり、地域社会のリーダーとなるよう期待する。</p> <p>また子どもや、子育て世代といった若い世代に団体の活動を知ってもらえた。</p> <p>参加者には、当法人のアメリカンフットボールの少年団「ジュニアブルーインズ」、チアリーディングの少年団「スウィートブルーインズ」等への体験や入部への流用も期待できた。</p>						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>&lt;中長期 ※3年後&gt;</p> <p>競技やレッスン中は子供や保護者たちと共に楽しみ、アメリカンフットボール、フラグフットボールの面白さを理解してもらえた。</p> <p>今後も定期的を開催することにより、年間50人以上の子供たちが地域で体育活動できる状態となる。また2024年のオリンピック種目となる可能性があり、オールジャパン選手を西宮市から排出する。</p> <p>&lt;最終目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に参画した全員が兵庫県内の地域づくりや人づくりの核となる。</li> </ul>						



フットボール

# 体験会

フットボールは、  
身体を動かして、  
仲間と協力して、  
楽しむことができます。  
ぜひ体験してみてください。

**10/31(日) 9:00~**

フットボール体験会及び、  
普及のための西宮ブルーインズ公開練習(予定)

**参加費  
無料!**

**場所** 西宮中央体育館グラウンド (住所: 西宮市河原町2番) **対象** 今年4月からの新小学1~6年生の男女 **持ち物** 運動しやすい服装、タオル

会費3年未満児童は各まもつくり広育費等 主催: 公益財団法人西宮フットボールクラブ

## お申込み方法

インターネット申し込みは、必ず参加費を記入してください。  
<http://kakucheese.com/event/index/145092/>

下記をお記入いただき、お送りください。

FAXで	お申し込み先 〒627-0001 西宮市河原町2番	フリガナ 西宮ブルーインズ フットボールクラブ	ご連絡先 電話番号	
	フリガナ フットボール体験会	お申し込み の学校 の名称	学年級名	小学校 年組
	フリガナ フットボール体験会	ご住所	性別	男・女 (どちらかだけ) お選びください。

FAX 0798-33-8213 (西宮フットボールクラブフットボール体験会専用)  
〒627-0001 西宮市河原町2番 西宮フットボールクラブ 受付係 電話: 0798-33-8213 FAX: 0798-33-8213

お問い合わせ: 西宮フットボールクラブ 西宮市河原町2番 西宮FC部 TEL: 0798-33-8213 WEB: www.nishinomiyafootballclub.org



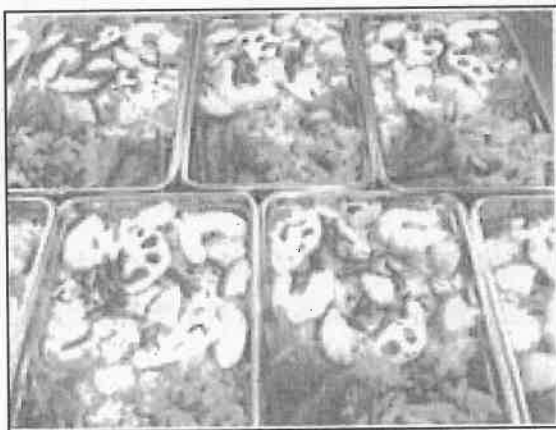
▲体験会の様子



## 2-17 見守り弁当事業

／南甲子園つなく会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>コロナ禍で外出機会が減少し、人と話す機会が減っていく中、本事業をおこなうことにより、ご利用者の体調の確認や話す機会を作ることができる。不安や孤独を防ぐことを目的とする。</p> <p>本事業のご利用依頼が、地域包括など他機関からや、本団体の他事業との連携で繋がることにより、単独事業ではなく複数資源で見守ることが出来、住民が少しでも安心した生活ができることを目的とする</p>
事業内容	<p>毎週土曜日、一人暮らしの高齢者や高齢世帯などを中心に、見守りや食事の支援が必要な方に対し、1食400円で手作り昼食弁当の配達サービスを行った。</p> <p>毎回メニュー表に、頭の体操やクイズ、最近の地域の話なども掲載し配布。</p> <p>お困りごとなど相談を受けたときは、ご家族や、他連携機関などに連絡し、必要な時は本事業がおこなっている、つどい場や生活支援事業などへもつなげました。</p> <p>お弁当の形態では、ご飯が食べにくい方は、おにぎり対応やごはん少なめなど、その方の形態にできるだけ近づけるよう対応いたしました。</p>



▲見守り弁当



▲お弁当作りの様子

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	3	10	16	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	2	12
		10	23	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	3	11
		10	30	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	3	12
		11	6	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	4	11
		11	13	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	4	10
		11	20	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	4	11
		11	27	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	4	11
		12	4	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	4	11
		12	11	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	4	11
		12	18	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達	4	9
		12	25	Café ココカラ	見守り弁当作り・配達・ お弁当昼食会 (500 円)	4	6 12
	目標の 達成状況	<p>ひと月目標、60食のところ、6月30食。7月46食。8月31食。 9月44食。10月57食。11月43食。12月47食。ひと月平均42食であった。 目標は達成しなかったが、一度ご利用してくださると定着して毎週ご利用して いただけた。</p>					
事業効果	<p>毎週定期的に訪問することにより、安否確認や体調不良など健康チェックを行う ことができた。外出できない方の食事の確保を週1回おこなうことにより、ご本人 様の安心感へつながった。 また、配達時間になると外に出てきて、ご近所様とお話ししながら待つおられ、 孤立予防にもなった。 特に、地域包括のご利用者においては、訪問時の報告をおこない、地域包括と情報 の共有をすることができた。地域で、住民を見守るコミュニティ作りの一資源にな った。</p>						
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望	<p>今年度は、地域の喫茶店の営業時間前に場所を借り、お弁当作りをしてきました。 が、いったん休止し、来春拠点を設け見守り弁当再開を目指す。 拠点を設けることにより、より地域と密着し、他機関との連携、本事業の「つど い場」や「生活支援事業」とのつながりも充実させ本団体が地域の安心できる資源 になるよう努める。 資金面では、西宮市の補助事業である拠点＝「西宮市交流拠点」を設けることに より補助金と参加費徴収などで、助成金に頼らない事業運営が出来るように努め る。</p>						

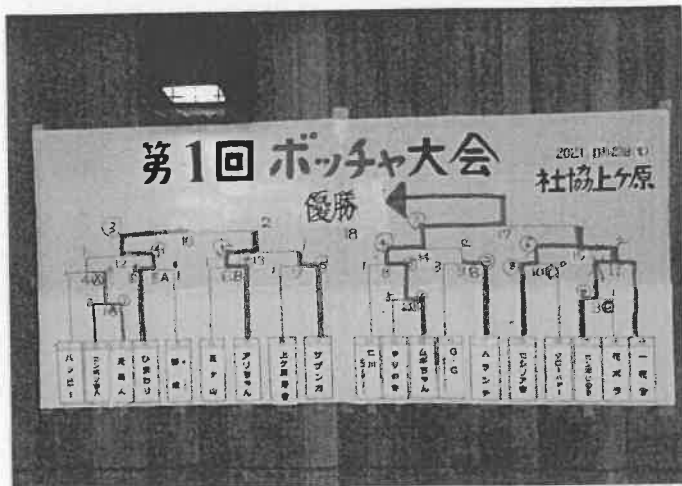
## 2-15 西宮市上ヶ原地区高齢者事業の充実を図るためのポッチャ大会の開催

／西宮市上ヶ原地区社会福祉協議会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	誰もが手軽・身軽に参加できるインドアスポーツとしてのポッチャを、地域住民のために広めることを視野に入れて開催する。
事業内容	<p>競技参加者は69名で、19チームによるトーナメント方式で行った。</p> <p>会場の借用時間を鑑み、公式ルールでは1試合6エンドであるが、4エンドとした。タイブレークは各チームから一人ずつ出してもらい、それぞれ1球だけ投げ、ジャックボールに近いチームを勝者とした。コート広さなど他はほぼルール通り実施し、審判は社協で行った。</p> <p>初めてポッチャを導入するため、また新型コロナウイルスの感染状況の先行きが読めないため、大々的な広報は行わなかった。そのため、社協が従来から実施している諸事業（ふれあい昼食会、上ヶ原サロン、ちびっ子広場）に協力していただいている方に絞って参加者を募集した。</p> <p>当初、8月23日実施を予定していたが、緊急事態宣言が発出されたため一旦延期とした。会場の確保ができたため、結果的に、11月23日にまん延防止等特別措置の中ではあったが、十全なる新型コロナウイルス感染症対策（検温、手指消毒、マスク着用、換気）を行い、無事遂行できた。</p> <p>なお、チラシは作成していないが、西宮市上ヶ原地区社会福祉協議会が年4回発行している広報誌「うえがはら」にて参加募集の呼びかけを行った。（「うえがはら」の発行部数は約1,200部）</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
事業経過	3	6	25	上ヶ原市民館	実施に向けての打合	17		
			7	上ヶ原市民館	〃	17		
			14	上ヶ原市民館	開催案内配布	17		
		8	6	16	上ヶ原南小学校	体育館下見		8
				6	上ヶ原市民館	実施に向けての打合		17
				6	上ヶ原市民館	審判員養成のための研修会開催		8
		9	16	〃	上ヶ原市民館	参加者へ開催通知配布		17
				16	上ヶ原南小学校	体育館最終点検		17
				18	上ヶ原市民館	参加者へ開催延期連絡配布		8
		10	11	17	上ヶ原市民館	実施に向けての打合		17
				21	上ヶ原市民館	延期後の開催案内通知		8
				8	上ヶ原市民館	実施に向けての打合		17
		11	5	〃	上ヶ原市民館	〃		17
				22	上ヶ原南小学校	体育館最終点検		14
				23	上ヶ原南小学校	競技実施		14
			30	上ヶ原市民館	反省会	14	66	
目標の達成状況	<p>参加人数は当初目標の70人をほぼ達成した。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視しながら、日程の延期をせざるを得ない状況であったが、年1回実施できた。</p>							
事業効果	<p>今年開催された東京パラリンピックで公式に採用されたボッチャを自宅で観戦し興味を持った方が多く、一度体験してみたかったという感想があるように、タイミング的にボッチャを採用したことは大いに効果があったと考えられる。</p> <p>参加者から、「久しぶりに人と話すことができた」、「少しだけでも体や頭を使うことができた」との感想があり、フレイル予防の一助となった。</p> <p>他の事業でもいえることであるが、参加者からの感謝の言葉をいただくことがやりがいのあることだどつくづく実感した。</p>							
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>今回の補助金交付により、ボッチャの道具はそろった。また今回の経験で、ほぼボッチャのノウハウが確立されたと評価している。来年度以降は、目標でもある多世代交流を視野に入れて推進していくためにも、参加者について、今年以上の大人数参加を対象とした試合運営を検討していかなければならない。例えば、会場の制限（小学校の体育館は3コートしか確保できない）、試合形式（借用時間・会場の制約）、1試合のエンド数、審判員の要請などを今後は試行錯誤して検討を続けていく。</p>							







## 2-18 「魅力あるまちなみ景観」推進事業

／西宮まちなみ発見倶楽部

活動地域	阪神間各都市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展やセミナーを通じ、西宮の新たな魅力を発見してもらうとともに、景観啓発を行う。</li> <li>・イベント鑑賞者参加型の場を持つことにより、自ら学び・考えて行動するきっかけを作る。</li> <li>・当倶楽部の年間を通じた活動内容を様々な手法（SNS、YouTube等）を用い、幅広く伝え、活動の協力者や理解者・共感者（サポート会員、入会希望者）を増やす。</li> <li>・景観形成に関心を持つ一般市民を増やし、その輪を作る。</li> </ul>
事業内容	<p>前半は倶楽部メンバーのMAP作りをベースとする調査研究活動が中心だったが、コロナ禍でも景観形成に関心を持つ市民は増やす場は必要との思いから、パネル展やセミナー及びまちあるきを開催する前提で準備を進めた。特に、障がい者支援施設との連携による車椅子のまちあるきでは、学生会員が中心となって準備・運営を進めてくれた。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除時期が延期されたが、感染予防対策を十二分に立てたうえで、2月にパネル展やセミナーを開催した。</p> <p>1. まちあるき</p> <p>①甲子園口車椅子まちあるき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年10月3日（日）9時～11時30分</li> <li>・参加数：35名（車椅子障がい者9、介助者6、スタッフ20名（うち学生11名））</li> <li>・コース：御代開公園～甲子園口・上甲子園地域（マボウトンネル、甲子園口ほんわか商店街、松山大学温山記念会館、旧甲子園ホテル）～武庫川河川敷～御代開公園</li> <li>・協力：特定非営利活動法人メインストリーム協会、ほんわか商店街（取材）</li> <li>・参加費：500円（車椅子障がい者の方のみ徴収）</li> </ul> <p>②アートと坂道のまち、名塩を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年11月3日（祝・水）13時～16時</li> <li>・参加数：41名（一般参加者28名、スタッフ13名（うち学生スタッフ2名））</li> <li>・コース：東山台ガゼボ広場～ナホ円形広場～ナホテラス～旧名塩（七々廻堰堤～北之町地車庫～教行寺～蘭学通り・JA前～名塩川～下滝）～JR名塩駅</li> </ul>

- ・参加費：500円

### ③まちなみ横断ウルトラクイズ

- ・開催日：令和3年12月11日（土）13時～16時
- ・参加数：16名（一般参加者7名、スタッフ9名）
- ・コース：阪神西宮駅市役所口～六湛寺南公園～松原神社～津門神社～津門公園～今津水波公園～松原神社～浜田温泉
- ・参加費：500円

## 2 パネル展

### ①パネル展「まちなみで知る西宮の魅力2022」

- ・開催日：令和4年2月19日（土）～20日（日）10時～20時（最終日～18時）
- ・場 所：アクタ西宮東館2階中央ひろば
- ・内 容
  - 展示：A0 18枚を展示（倶楽部活動紹介、景観啓発コーナー「まちなみ×防災」、作成中MAPの地域「生瀬」のまちなみ、今昔写真・阪急夙川駅周辺、坂道とアートのまち名塩を楽しむ、甲子園口車椅子まちあるき、まちなみ横断ウルトラクイズ）
  - 動画上映：倶楽部紹介、まちなみ横断ウルトラクイズ、坂道とアートのまち名塩を楽しむ、甲子園口車椅子まちあるき（新規）  
今津・紅寒桜まちあるき、名塩の春（昨年度のもの）
  - MAP販売：西宮まちなみ発見MAP10～12の販売
- ・参加費：無料
- ・参加数：鑑賞者のべ600人、スタッフのべ51人

### ②ブックフェア「西宮の歴史をたどる」

- ・開催日：令和4年2月4日（金）～4月2日（水）9:30～18:00（月休み）
- ・場 所：西宮市立中央図書館入口前ロビー
- ・協力内容：パ 祕展2020の展示物『武庫入りの海～阪神間モダニズム』4枚提供、倶楽部PRパ 祕掲示（主催：西宮市立中央図書館）

## 3 景観啓発セミナー「まちなみから見る西宮の魅力2022」

- ・開催日：令和4年2月23日（祝・火）13:30～16:00

・場 所：西宮市勤労会館 4階 第8会議室

・内 容

●話題提供：『西宮の景観とデザイン・他市との比較』

／西宮市都市デザイン課 課長 佐藤 亘一郎氏

●講演：『ミルフィーユと石で読み解くパリと阪神間のまちなみ』

／武庫川女子大学 准教授 三宅 昌弘氏

●対談：上記のお二人による対談

・参加数：69名（一般参加者57名、スタッフ10名、ゲスト2名）

・参加費：500円 ＊2①一部を掲示し、開始前に2①名塩と今津の動画を上映。

#### 4 MAP作成

・対象地域：西宮市塩瀬町生瀬

・作成状況：2021年度は調査、取材、原稿作成、編集作業実施。成果は、パネル展の「生瀬」コーナーで公開。MAPは3～4月校正、5月発行予定。

#### 5 勉強会

・開催日：令和3年12月18日（土）13:00～16:30

・参加数：18名（講師1名、正会員11名、サポート会員3名、学生会員3名）

・内 容：芦屋市の学芸員による案内でまちあるきを実施。他市の学芸員を講師に招いての実施は初の試みであったが、交流を図ることができたと同時に、阪神南地域のまちなみへの理解が深まった。

・コース：阪急芦屋川駅～初代桜橋の橋脚～猿丸家の墓所～東芦屋緑地（久保邸跡）～芦谷神社～山手緑地～ヨドコウ迎賓館～開森橋～芦屋川水車場跡と山芦屋の石臼～西山幼稚園の擁壁（高砂産の竜山石）～阪神大洪水決壊碑・猿丸翁頌徳碑・細雪碑～阪急芦屋川付近（駐車場）解散

\*パネル展及び景観啓発セミナー実施に際し、共通で取り組んだこと

・密を避けるためパネル展では積極的な説明は控え、兵庫県コロナ追跡システムを掲示。

・セミナーでは参加者を会議室の1/2以下に抑え、検温消毒を行うとともに、座席間隔を空け、複数のサーキュレータによる換気を行った。

・セミナーの申込はGoogle フォームを活用した。募集の効率化を図るとともに、電話受付とは異なる世代や層からの申込があった。

実施経過	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数					
						スタッフ	参加者				
実施経過	2021 (令和3)	6	20	Zoomオンライン開催	定例会 第3回(全体調整)	14					
				若竹公民館	北部MAP 打合せ	9					
				26	越木岩公民館第1集会室	今昔班 打合せ(写真絞込み)	4				
				学生WEB会議	車椅子まちあるきコース設定	6					
				7	27	甲子園口周辺	車椅子まちあるきコース確認①	9			
						7	17	阪急夙川駅周辺	今昔班 現地写真撮影	4	
								18	国道2号と夙川周辺		1
						24	郷土資料館	北部MAP 勉強会(生瀬の展示)	3		
						24	甲子園口周辺	車椅子まちあるきコース確認②	12		
						25	若竹公民館第1集会室	定例会 第4回(全体調整)	13		
						北部MAP 打合せ	9				
				7	28	BAR山谷	ほんわか商店街会長打合せ	3			
						8	1	生瀬周辺・社協会館	北部MAP 文化財ウォーク・取材等	2	
				16	21			NPOメインストリーム協会	車椅子協会コース調整	3	
						学生WEB会議	ガイドマニュアル内容確認①	10			
				19	22	芦屋市役所	芦屋勉強会 打合せ	1			
						生瀬東町等		1			
				26	29	生瀬・宝塚土木・宝塚市役所	北部MAP 現地調査・打合せ	1			
						中央公民館402集会室		9			
				9	4	夙川公民館第3集会室	今昔班 打合せ(まとめ)	4			
						学生WEB会議	車椅子ガイドマニュアル内容確認②	10			
						7	11	芦屋市役所	芦屋勉強会 打合せ	1	
				中央公民館401集会室	定例会 第5回(全体調整)			10			
				9	19	甲子園口周辺	北部MAP 打合せ	9			
						22	芦屋市役所	車椅子まちあるきリハーサル①学生	12		
				23	26	名塩	芦屋勉強会 打合せ	1			
						甲子園口周辺	名塩まちあるき(下見)	8			
				9	26	甲子園口周辺	車椅子まちあるきリハーサル②全体	16			
						10	3	甲子園口～武庫川河川敷	甲子園口車椅子まちあるき(本番)	20	15
				16	夙川・香櫨園市民センター			夙川オアシロード50周年記念行事	5		
				17	24	名塩	名塩まちあるきリハーサル	12			
						今津公民館第2集会室	定例会 第6回(全体調整)	12			
				24	27	今津公民館第2集会室	北部MAP 打合せ	9			
						ヨドコウ迎賓館	芦屋勉強会 打合せ	1			
				11	3	塩瀬町名塩	名塩まちあるき(本番)	13	28		
						8	東芦屋・山手町・山芦屋町等	芦屋勉強会 現地調査	1		
				10	14	芦屋市役所ヨドコウ迎賓館	芦屋勉強会 打合せ	1			
						座頭谷・蓬萊峽・青峯道等	北部MAP 生瀬視察	3			
				20	27	越木岩公民館第1集会室	定例会 第7回(全体調整)	11			
						夙川公民館第3集会室	北部MAP 打合せ	8			
28	5	阪神西宮駅～上野神社	今昔班 打合せ(最終まとめ)	4							
		ウルトラクイズ 現地調査	2								
12	11	阪神西宮駅～上野神社	ウルトラクイズ リハーサル	9							
		12	中央公民館403集会室	ウルトラクイズ(本番)	9	7					
12	15	中央公民館403集会室	定例会 第8回(全体調整)	16							
		芦屋市役所	北部MAP 打合せ	8							
18	23	芦屋市役所	芦屋勉強会 打合せ	1							
		東芦屋・山手町・山芦屋町等	芦屋勉強会(本番)	17							
2022 (令和4)	1	今津公民館第2集会室	定例会 第9回(全体調整)	14							
		12	芦屋市役所	北部MAP 打合せ	7						
2	2	生瀬	芦屋勉強会 報告	1							
		4-28	西宮市立中央図書館	北部MAP 現地調査(写真撮影)	1						
6	19-20	中央公民館401集会室	ブックフェア *パネル貸出	2	図書館来訪者						
		アクト西宮東館2階	定例会 第10回(全体調整)	9							
23	23	勤労会館 第8会議室	パネル展	約51	600						
		景観セミナー	15	54							

目標の  
達成状況

## 1. まちあるき

- ・ 3つの全く趣向の異なるまちあるきを実施した。
  - 1) 『甲子園口車椅子まちあるき』(車椅子障がい者対象)
  - 2) 『アートと坂道のまち、名塩を歩く』(新MAPのコース紹介)
  - 3) 『まちなみ横断ウルトラクイズ』(クイズに答えながら歩く)
- ・ 例年、まちあるきの参加対象は一般市民だったが、今回、車椅子障がい者を対象としたまちあるきを実施できた。特定非営利活動法人メインストリーム協会との連携により実現した取組みで、今年度の活動において特筆すべきことと捉えている。
- ・ 『まちなみ横断ウルトラクイズ』も今年度の新たな取組みである。スタッフと参加者との交流もはかれ、参加者自身のまちなみへの関心度アップにつながった。

## 2. パネル展

### ①パネル展「まちなみで知る西宮の魅力 2022」

- ・ 会場費が高く、助成金だけでは足りないこと、収入見込みの立たない取組みであることから、昨年度同様、開催期間2日間、会場の半分を借りて開催した。また、まん延防止等重点措置発出中だったため、新型コロナウイルス感染予防のためソーシャルディスタンスを保ち、積極的な説明やアンケートのお願いは控えめにを行った。そのため、アンケート回収数は例年の3分の1ほどにとどまった。一方、来場者は例年通りで、日曜日が若干少ないと感じた程度だった。
- ・ 昨年度と同様に、動画上映を行った。昨年度作成分も含め、6本(総上映時間約50分)と盛りだくさんだったが、じっくり鑑賞してくれる人が目立った。
- ・ MAPの販売も行なった。倶楽部発行のMAP(3種類)1部に、市の事業で作成したMAP(9種類)を1部おまけでつけることとした。そのため、お住まいの地域や倶楽部の活動に関心を持たれ、複数購入される方が多く見られた。
- ・ アンケート結果を見ると、「本日通り過ぎて」と「チラシを見て」が最も多く各11名であった。また、今回「はじめて」パネル展を鑑賞した方が30%程度で、コロナ禍前までに比べるとかなり少なかった。コロナ禍前は、鑑賞者に積極的に声をかけてアンケートにも回答いただいていたが、この2年間は鑑賞者からの質問に答える程度にとどまった結果と思われる。
- ・ 今年度新しく取り組んだメインストリーム協会との連携による『車椅子まちあるき』の展示では、来場者より大変高い評価を得ることが出来た。また、多くのリピーターからは、毎年展示内容の充実度(ex 調査内容の深さや正確性)への評価も高く、当倶楽部の活動に大きく期待する声が多数あった。
- ・ 景観啓発コーナーでは、多くの方々に、普段気づかないことへの気づきや防災看板への関心を持ってもらう機会を提供出来た。

### ②ブックフェア「西宮の歴史をたどる」

- ・ 上記①のパネル展は、テーマを変えて例年2月に実施している。その巡回展の会場を探る中で、図書館への提案も続けている。図書館では同じ団体の展示は控えるというのが通例であったが、2年連続、中央図書館での展示が実現した。
- ・ 昨年度は「ヴォーリス」、今年度は「阪神間モダニズム」に関する印刷物を4枚貸し出した。鑑賞者からは色々な質問があったと聞いている。
- ・ ブックフェアの期間が①のパネル展の期間中だったことから、図書館で知って、アクトに会場してくれた人もいた。相乗効果があったと思われる。

### 3. 景観セミナー

- ・西宮市役所都市デザイン課佐藤課長からの話題提供では、『西宮の景観とサイン、他市との比較』をテーマに、夙川の上流から下流、西宮浜に連なる緑のラインが西宮のまちづくりの根幹を物語っている点や、景観に関する法律、加えて屋外広告物・公共サインについて、興味深い話を聞くことが出来た。
- ・武庫川女子大学准教授三宅教授の講演では、『ミルフィーユと石で読み解くパリと阪神間のまちなみ』をテーマに、西宮のアーバンデザインに始まり、都市には色があり西宮は桜色であること、それはまちの石に影響していることなどを、パリ留学時代での体験を通して非常に興味深い話を聞くことが出来た。
- ・佐藤課長と三宅先生の対談では、土木構造物とまちなみの関係をそれぞれの立場から語り合っていた後、二人が大学のゼミ同期生で且つ約 30 年ぶりの再会という話も飛び出し、他では聞けない話を聞くことができ、参加者とお二人の距離が縮まり、高感度な印象を持つと共にまちなみへの関心が高まったと言える。
- ・アンケート結果を見ると、初めての参加は 35%弱、7 割弱がリピーターだった。その多くが、パネル展とセミナーの参加者だった。年齢層は 70 代以上が半数と、例年以上に高齢者の参加が目立った。自由回答では、活動目的でもあるまちなみへの関心が高まったとする意見が多く寄せられた。

### 4. MAP 作成

- ・新しい MAP (西宮まちなみ発見 MAP13 生瀬) 作成を進めてきたが、コロナ禍により全体的にスケジュールが遅れ、本事業の対象期間内での完成には至らなかった。
- ・今回の MAP の対象エリアは宝塚市との市境界にあり、宝塚市の協力も得て情報収集を行なっている。
- ・今年 5 月頃の発行を目指しており、秋には MAP のコース紹介まちあるきを実施する予定である。
- ・西宮市は、北部と南部に市域が分断され、全般的に北部での活動が少ないため(他のテーマでも)、このような活動に期待を寄せる地域の方が多い。名塩のまちあるきに生瀬地域の方が参加されており、各事業完結では語れない効果が生まれていると感じている。

### 5. 勉強会

- ・倶楽部メンバーの勉強会の機会として他市の視察を続けているが、今年度は隣市の芦屋市で行なった。今後は、テーマを変えて、芦屋と西宮での開催も模索中である。
- ・また、上記 MAP 作成に際しては宝塚市の協力も得ている。
- ・パネル展の景観啓発コーナーで防災を取り上げたことで、尼崎市の防災についても関心を高めている。

### \*計画していたが、できなかったこと

- ・既存作成 MAP (12 地域) 活用のミニさんぽ(まちあるき)：コロナ禍により、4 月～6 月の会議はオンラインで実施するなど今年度の活動開始が遅れた。また、緊急事態宣言、まん延防止など重点措置発出期間が長く、報告した事業以上の実施が困難だった。
- ・まちなみコンサート：パネル展の会場にあるストリートピアノを活用する予定だったが、会場隣でもイベントが開催され、使用ができなかった。



事業効果

- 連動企画による相乗効果
  - ・令和2年度と同様、大きなイベントとしてパネル展と景観セミナーは、同一テーマで行った。
  - ・パネル展では、景観啓発コーナーのテーマを『まちなみ×防災』とし、地勢に見るまちなみ、防災サインについて啓発を行なった。来場者の『まちなみ×防災』への関心・意識付けを図ることが出来た。
  - ・景観セミナーでは、景観行政の視点から屋外広告物（サイン）の景観配慮などの考え方やルールについて参加者の理解につながった。また、まちの色と石の話を通して、まちなみの見方を広げる機会となった。
  - ・視点や方法を変えて（報告、対談等）発信することで、景観に関心を持つが、考え方や見方の異なる人々に対しても発信ができた。
  - ・「入口」を増やすことで、まちなみ・景観への関心の輪が広がると確信した。
- コロナ感染対策を取ったイベント開催
  - ・令和3年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から対面によるリアルな活動をコロナ前に比べて自粛はしたものの、実施の際には、十分な感染対策を取った。
  - ・コロナによる自粛ムードの市民の方々にとっても、当倶楽部開催のイベントは、息抜きとしての効果も大いにあるのではないかと思われる。
- 内容（質）の向上
  - ・倶楽部メンバーの活動は、各イベント（まちあるき、セミナー、パネル展）に向けた準備、通年の活動である今昔班（今と昔のまちなみを写真で比べる）、MAP作成に向けた活動が中心だった。
  - ・特にMAP作成では、調査や取材を通して、新たなつながり、他への派生などが起きていることと、これまで以上に時間を掛けることになったため、結果として従来にも増してレベル（質）の高いMAPが発行できる予定である。
- 情報発信の向上
  - ・例年、Facebookと印刷物に頼る情報発信が中心だったが、昨年度YouTubeを追加。加えて、若者向けのTwitter、Instagramでの情報発信にも務めた。
  - ・Facebookでは、定期的な情報発信をとして、西宮市内小学校校歌を紹介する『校歌に見るまちなみ』を行なっている。閲覧者による『いいね！』が各段に増え、当倶楽部の認知度も大幅に上がったと認識している。

補助金交付  
終了後の事業  
展開、今後の  
展望

- より幅広い年齢層へのアプローチ
  - ・多様な情報発信媒体を用いることにより、多様な層への情報発信を積極的に行う。
  - ・情報発信の一つである動画は、景観パネル展においても好評だったため、今後も積極的に動画での発信を行っていききたい。
- ハイブリッド啓発活動
  - ・コロナウィルス感染予防対策が取れるオンライン形式だけでは留まらず、リアル形式も併せたハイブリッド形式でのイベント開催による景観啓発活動も考えたい。
- 参加型のイベント企画
  - ・リアル型、オンライン型も含めて参加者が受身的な参加をするのではなく、参加した成果として目に見えるようなアウトプットが出せる取組みも検討したい。
- 西宮市から兵庫県、他府県へ
  - ・活動を通して、隣接市や宝塚市との連携も可能となった。また、阪神間で活動しているメンバーもいること、阪神南地域ビジョン委員会のメンバーから関心を持たれていることから、周辺自治体の住民との連携・協力できる新たな取組みも考えたい。
- 活動の連続性とスキルアップ
  - ・今年度できなかった『既存作成MAP（12地域）活用のミニさんぽ（まちあるき）』を4月より実施する。気軽なまちあるきをこまめに行うことで、活動を点から線へ連続性を持たせると共に、住まいの地域や得意とする地域においてメンバーがガイドすることでスキルアップに繋がることをめざしたい。
- 収入源の確保
  - ・これまで活動経費は、倶楽部の会員制度による会費と、西宮市助成金や当阪神南ふるさとづくり応援事業の助成金に頼って来たが、今後の倶楽部の継続維持という観点では、新たな収入源の確保は必須と考える。
  - ・財源確保のひとつとして、市の事業で作成したMAPの改訂版を発行することを考えたい。新規MAPの発行と合わせて販売し、収入アップをはかりたい。
  - ・さらに、当倶楽部が蓄積してきた膨大な情報の再編集による冊子などを発行することも考えたい。
  - ・会員制度においては、会員を増やすことはもとより、応援してくれる寄付者を増やすことも視野に入れていきたい。
  - ・長期的展望として、景観やまちづくりに関する受託事業が取れるよう法人格を取得すること、そのための法人化に向けた検討も行っていきたい。

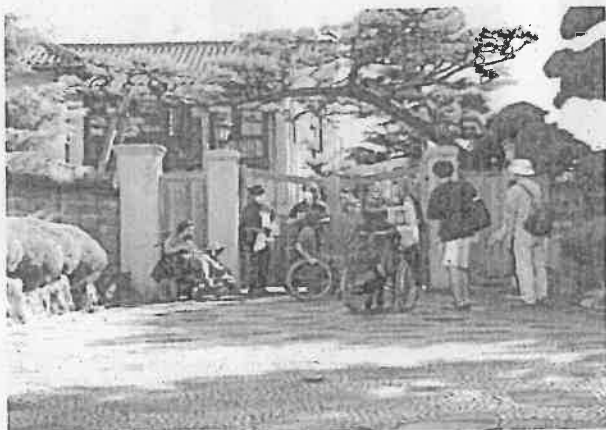
■まちあるき実施の様子（写真集）



①マンボウトンネル



②JR 甲子園口駅



③松山大学温山記念館



④旧甲子園ホテル



⑤枝川樋門



⑥武庫大橋・武庫川河川敷



## パネル展全景



## 各コーナーの展示

<「生瀬」のまちなみ>

<坂道とアートのまち名塩を楽しむ>



<甲子園口・車椅子まちあるき>



<まちなみ横断ウルトラクイズ>

<今昔写真・阪急夙川駅周辺>



<景観啓発「まちなみ×防災」>

<倶楽部紹介>





## 2-19 室町時代のご当地曲 能「西宮」を謡おう！

／能「西宮」を謡おう実行委員会

活動地域	西宮市
協働団体	西宮能楽研究会
事業の 目的・趣旨	西宮をキーワードとした伝統文化や地域の歴史に親しみ知識や見識を深めることを目的とする。
事業内容	<p>能の演目「西宮」をテーマとしたワークショップや公演・講演会等を開催およびストーリー絵本の制作。</p> <p>【能「西宮」を謡おう！…能楽師の指導による謡ワークショップ 全9回】          ○一般対象8回・参加費500円/回          令和3年10月24日(日)、11月2日(水) 西宮神社 社務所和室          令和3年11月20日(土)、12月3日(金) 廣田神社 参集殿          ○子ども対象1回・参加費無料          令和3年12月3日 廣田神社 参集殿</p> <p>謡の一節の練習を中心として、指導にあたる能楽師の実演や解説などを含め能「西宮」を体験し学ぶワークショップを実施。謡が初めての人に向け基本発声や姿勢などの事前練習(プレ講座)の回を設け希望者は参加できるようにした(プレ講座と本講座の2回×4日計8回)。子ども対象講座は当初予定の2回実施から初回日の申込がなかったため1回の実施となった。子ども対象講座は無料でいずれか1回のみ参加可能としたため1回で完結となるよう謡の練習のほかに能「西宮」のストーリー紙芝居や小鼓の体験など伝統芸能や西宮の歴史に総合的に触れることができるプログラムとした。</p> <p>講座指導：吉井基晴、寺澤幸祐、久田陽春子(団体構成員)、進行：沖けい(団体構成員)</p> <p>《参加者数》 一般延べ50名、子ども3名(関係者、招待者を除く)</p> <p>【能「西宮」を聴こう！…ワークショップ成果発表と朗読・謡等による公演】          ○令和3年12月5日(日)13時30分開演 西宮市甲東ホール・参加費無料</p> <p>能「西宮」をテーマとして謡と囃子による上演、ストーリーの朗読、ワークショップ参加者による成果発表に加え、当日の来場者がともに能や演目に親しむためのプログラム(能の解説、謡の一節の練習など)にて公演を実施した。</p> <p>出演：川邊暁美(司会と朗読・フリーアナウンサー)、謡ワークショップ受講者、</p>

吉井基晴、寺澤幸祐、久田陽春子（団体構成員）、演出構成：沖けい（団体構成員）  
《参加者数》47名（関係者、招待者を除く）

【講演会～能「西宮」】

○令和3年11月28日（日） 廣田神社 参集殿大広間・参加費 500円

演目の背景や構成など能楽の切り口からの解説と、演目の舞台とされ曲中にも登場する宝珠「剣珠」を所蔵している廣田神社の歴史や剣珠にまつわるエピソード譚など地域の歴史を学ぶ講演会を実施。最後に登壇者とナビゲーター役の上念氏での鼎談を設け、それぞれの講演内容を交差させ膨らませる効果をめざした。

神社のご厚意で非公開の「剣珠」を参加者全員が拝見させて頂いた。

登壇：関屋俊彦（関西大学名誉教授・伝統芸能史研究者）、西井璋（廣田神社宮司）、上念省三（舞台芸術評論家）ストーリー語り：久田陽春子（団体構成員）、総合進行：沖けい（団体構成員）

《参加者数》69名（関係者、招待者を除く）

【ストーリー絵本 能「西宮」の制作】

作成部数：25冊、A4変形（210×210mm）サイズ、フルカラー28ページ

子ども世代が演目を通して西宮の歴史等に触れることができるよう、能「西宮」のストーリー絵本を制作。図書を媒体とした普及のために、できる範囲で読み聞かせやテーマ展示などでの使用を依頼したうえで図書館等への寄贈を行った。蔵書保管や子どもの扱いに長期で耐えうる堅牢なものが望ましいとの意見からハードカバーの仕様とした。寄贈先のうち、西宮市内図書館、子育て総合センターは贈呈本の審査を受けたのちに送付した。

今回の絵本は図書館等の設置による普及を主眼としており少部数の作成であるが、挿絵や装丁等は今後の活動にも使用させてもらう旨の了解を得ているため紙芝居や簡易な冊子配布などの普及活動の展開も可能となっている。

絵本寄贈先：西宮市内図書館11ヶ所、西宮市子育て総合センター、クリエイトにしのみや（西宮情報を発信）、国立国会図書館（東京本館・関西館）、兵庫県立美術館 美術情報センター、団体構成員（子ども能楽教室等での使用）4冊、関係者・機関等（補助事業提出等）5冊

挿絵・装丁デザイン・印刷：西村かおり（スタジオかえる）、あらすじ・制作総括：沖けい（団体構成員）



	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	R3	4	9	西宮市職員会館	第一回企画会議	4	3
		5	11	西宮市職員会館	第二回企画会議	3	3
		6	7	西宮市役所 第二庁舎	西宮市未来づくりパートナー事業審査会	1	
		6	11	尼崎市総合文化センター	阪神南ふるさとづくり応援事業審査会	1	
		7	8	オンライン	実行委員会ミーティング	4	
		7	13	西宮市役所本庁	西宮市担当課との協議	2	4
		7	13	西宮神社	会場依頼、打合せ	2	1
		7	16	オンライン	実行委員会ミーティング	4	
		7	22	廣田神社	会場依頼、打合せ	1	1
		8	1	甲東ホール	ホール抽選会	1	2
		8	1	廣田神社	講演会打合せ	1	2
		8	2	西宮市ウエーブ	広報印刷物打合せ	1	1
		8	16	阪神西宮ピエント	講演会打合せ	1	1
		9	22	名古屋能シアター久田館	実行委員会ミーティング	4	
		9	29	甲東ホール	公演打合せ	1	2
		10	13	西宮市ウエーブ	絵本制作打合せ	1	1
		10	18	廣田神社	講演会打合せ	1	4
		10	24	西宮神社	実施) ワークショップ 一般①	5	11
		11	2	西宮神社	実施) ワークショップ 一般②	3	8
		11	14	甲東ホール	公演打合せ	4	3
	11	20	廣田神社	実施) ワークショップ 子ども対象	3	3	

		11	20	廣田神社	実施) ワークショップ 一般③	3	17
		11	28	廣田神社	実施) 講演会～能「西宮」	7	69
		12	3	廣田神社	実施) ワークショップ 一般④	4	14
		12	5	甲東ホール	実施) 公演 能「西宮」を 聴こう!	8	47
		12	12	阪神西宮ビエント	絵本制作打合せ	1	1
		12	24	奈良春日野国際フ ォーラム	絵本制作打合せ	3	1
	R4	1	10	オンライン	絵本制作打合せ	1	1
		1	15	オンライン	絵本制作打合せ	1	1
		1	20- 2	20	絵本寄贈先への依頼・発送	4	
目標の 達成状況	西宮をキーワードとした伝統文化や地域の歴史に親しみ知識や見識を深めることを目的とした今年度事業は、昨年度の内容に新たな展開を加えた項目にストーリー絵本の制作など新規を加えた4項目によって企画した。新型コロナウイルス感染症の影響で催しの実施は緊急事態宣言が解除された期間ではあるものの、やはり参加を控える動きが見られ項目によっては予定参加数には届かなかったが、参加後に別日にも追加申込がされるなど参加満足度の高さを感じられたこと、アンケートでも高評価を得ることができたことから当初目標に準じた内容で実施することができた。(アンケート集計別添)						
事業効果	能の演目「西宮」をテーマとした事業の一連で、実際に能の謡や楽器に触れて普段あまり伝統芸能に接する機会がない人にも興味関心を高めることができ、また曲のストーリーを知ることや専門家等による講演により西宮の歴史的背景や西の宮と呼ばれていたことが現在の地名の語源であることなど地域についての知識や理解を深められ、地域への関心や誇り向上の一助となることができた。						
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望	(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください) 現在は上演されていない演目の能「西宮」の復曲(復活上演)を目指し、能楽上演のうえでの調査研究、聞き取りなどを行う機会を創出するとともに、次年度以降も地域の文化的な宝物として地域ゆかりの多くの人が能「西宮」という演目があることを知っている、ロズさめることを目指して小規模な形態でも気軽に曲に触れることができる公演やワークショップ等のプログラムの充実をはかり、普及を進めたい。 具体的には、能「西宮」など阪神間ゆかりの曲をテーマとしたセミナーつきミニコンサートや謡・仕舞・和楽器を体験し学べるワークショップ等の開催、インターネットの利用を含め紙芝居や簡易版絵本等での物語としての普及活動、研究者や能楽実演者による伝統芸能と地域の歴史研究をクロスさせた勉強会の開催などの企画を今後も続けていきたい。						



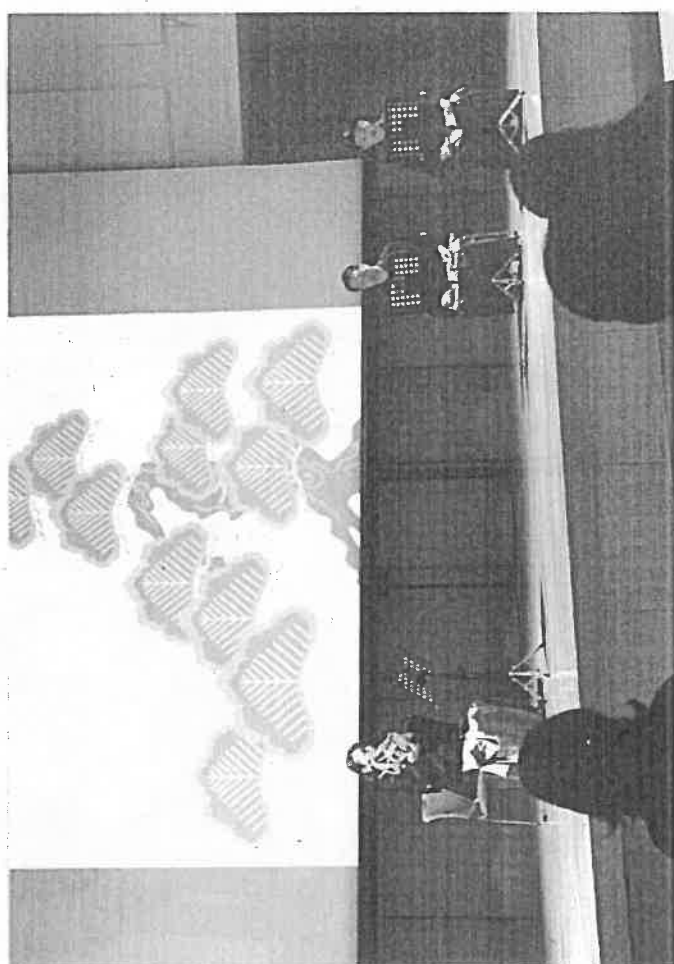
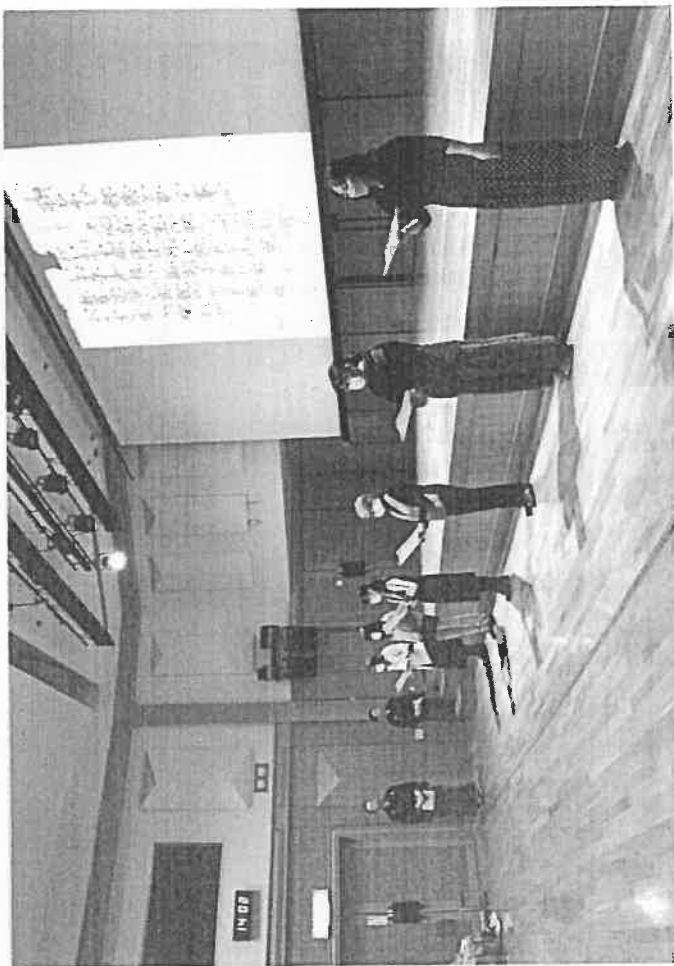
寛政時代のご当地曲～能「西宮」を聴おう！

# 能「西宮」を聴こう

2021.12. 5 西宮市甲斐

主催/能「西宮」を聴おう！実行委員会 協賛/西宮市 寺町3丁目市民会館づくりのパートナー事業 兵庫県精神保健センターご協力事業



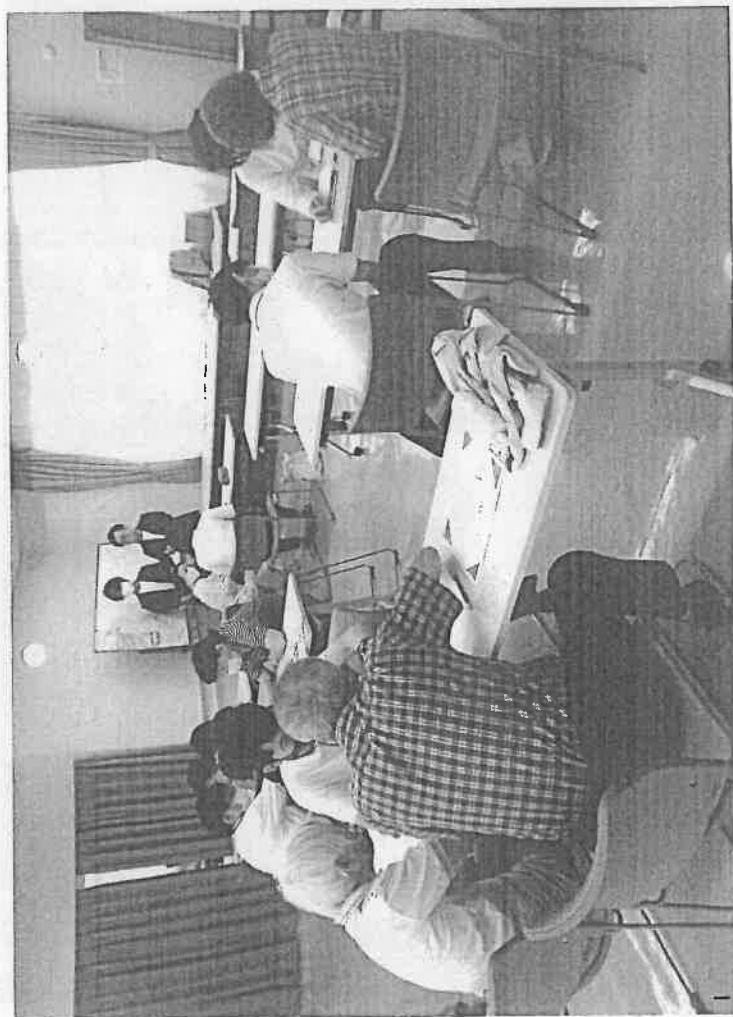
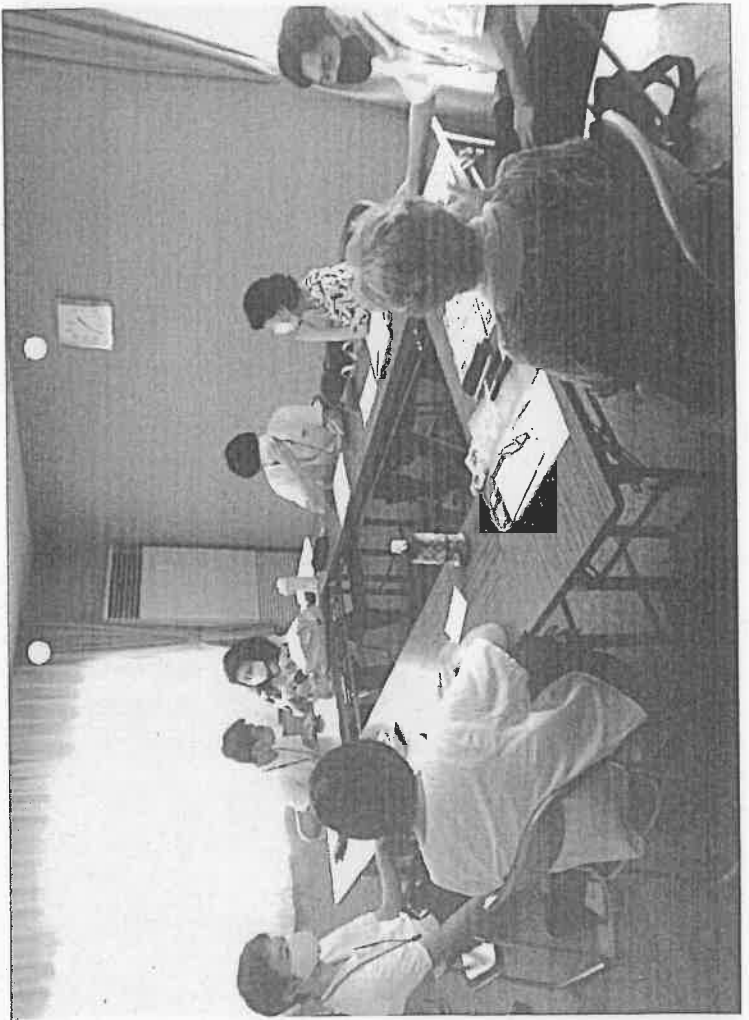


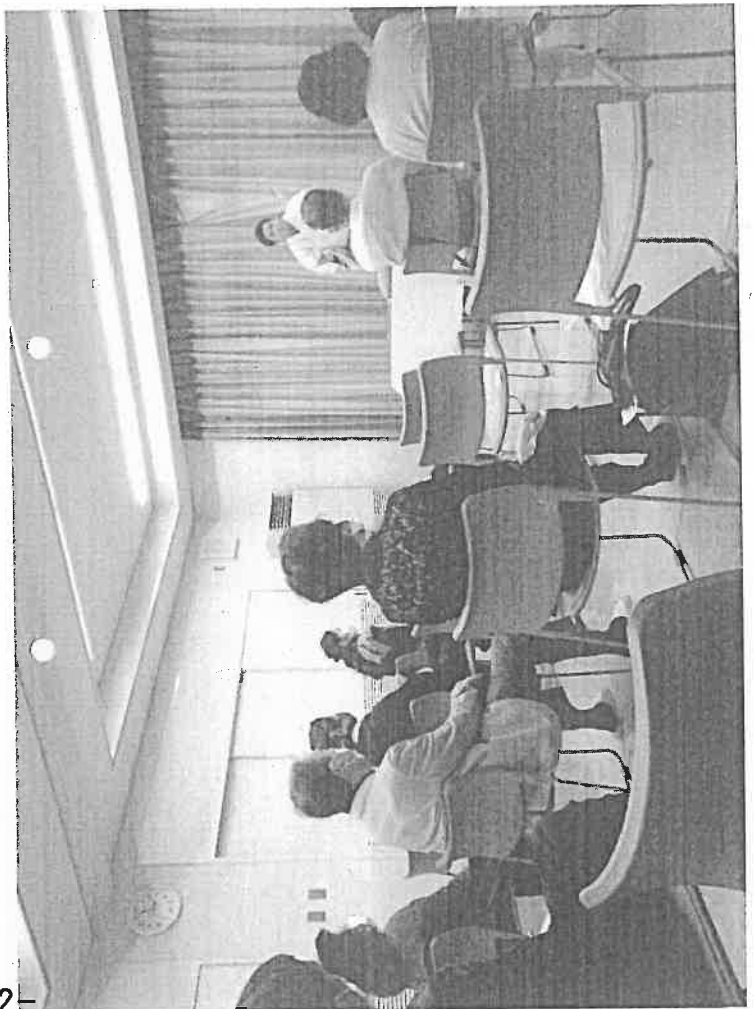
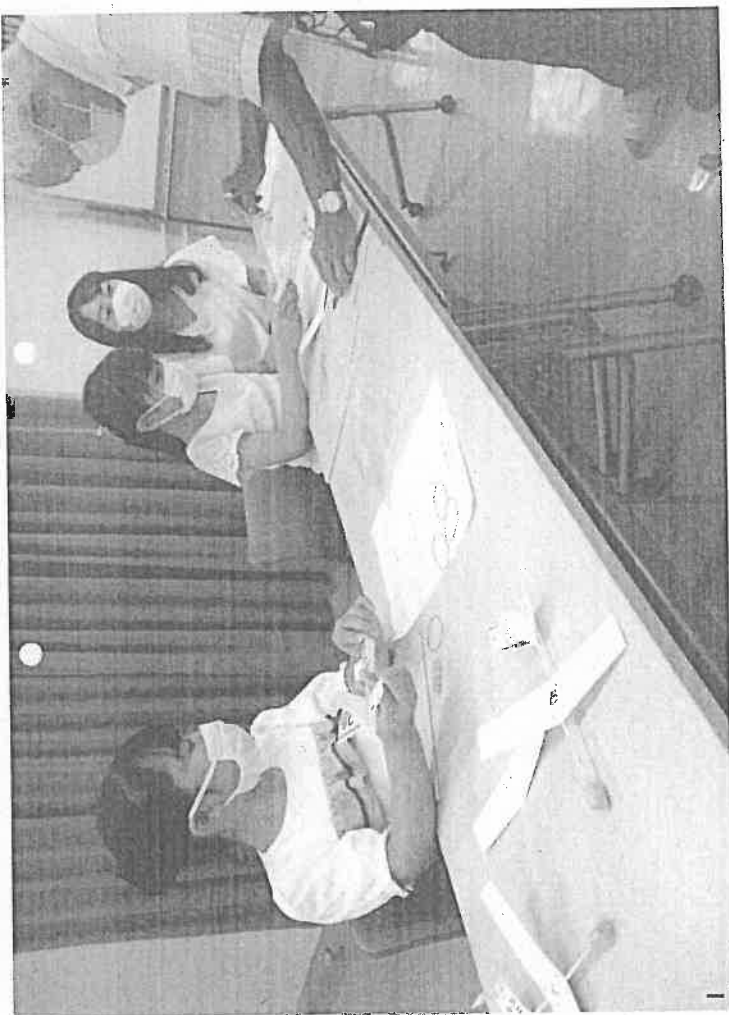
## 2-20 HAI's 講座

### ／芦屋市朝日ヶ丘地区集会所運営協議会

活動地域	芦屋市
協働団体	朝日ヶ丘町自治会 東山町自治会 岩園町自治会
事業の 目的・趣旨	地域活動の拠点である朝日ヶ丘地区集会所に地域の皆さまが、積極的にお越し くださり、より多くの方とご交流いただける場として事業を開催することを 旨とする
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① スマートフォン講座(全2回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、初めて高校生の皆さんにお手伝いいただき、講師とは別にマンツーマンで講座を進める形を取りました</li> </ul> </li> <li>② GENKI★体操(全5回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいメンバーを迎え、無理なく、楽しくストレッチ</li> </ul> </li> <li>③ 囲碁ひろば <ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者の方が多く参加くださり、有段者とも実戦を交えながら囲碁をお楽しみいただきながら交流を深める</li> </ul> </li> <li>④ 昔おもちゃ教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りの楽しさと出来上がりの喜びを地域交流とともに提供</li> </ul> </li> <li>⑤ 落語を楽しもう会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元ご出身の落語家さんに演じていただき、親しみを感じながら、楽しいひと時をお過ごしいただきました</li> </ul> </li> </ul>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	3	7	8	朝日ヶ丘地区集会所	スマートフォン講座①	2	16
	3	7	9	"	GENKI★体操	2	9
	3	7	15	"	スマートフォン講座②	25	18
	3	7	20	"	囲碁教室	2	16
	3	8	3	"	昔おもちゃ作り教室	2	15
	3	8	13	"	GENKI★体操	2	5
	3	9	10	"	GENKI★体操	2	7
	3	10	8	"	GENKI★体操	2	10
	3	10	22	"	落語を楽しもう会	4	19
	3	11	12	"	GENKI★体操	2	11
目標の達成状況	<p>今回、初めて高校生の皆さんにお手伝いいただき、講師とは別にマンツーマンで講座を進める形を取りました。高校生の方は伝える楽しさ・難しさを体験していただけ、受講者の方からはスマートフォンのより良い使い方を学べたとお声をいただきました。世代を越えた交流が図れたと存じます。</p>						
事業効果	<p>囲碁教室に参加された方が引き続き囲碁ひろばにご友人と参加くださり、交流を深めていただけました。</p> <p>老人会でも二豆さんをお呼びし、落語会を開催される運びになりました。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>実際に継続している事業の参加者を増やし、より多くの方に集会所をご利用いただけるよう努めます</p> <p>引き続き、学生の方をはじめ、若い方と年配の方がより多く、交流をお持ちいただける場を提供して参ります(初回は11月20日予定)</p>						







## 2-22 芦屋ファーマーズマーケット「暮らし野菜」

／フライパン

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>「農」に触れる機会をつくることで、地域の「農」への関心を高め、食材や調理にかける時間を増やしてもらい、家族の団欒の時間を増やすことを目的にしています。</p> <p>また、本事業を八百屋やレストランとの連動し、年に1度ではなく、週に1度の継続的な取り組みにできた場合は、地域間交流・地産地消に寄与できると考えています。</p>
事業内容	<p>&lt;実施概要&gt; 地域でファーマーズマーケット・農ワークショップを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：2021年11月21日（日）11～15時</li> <li>・来場者：約1500人</li> <li>・場 所：芦屋市 宮塚公園</li> </ul> <p>&lt; 詳 細 &gt;</p> <p>兵庫県各地（淡路島、但馬、丹波篠山などから）8農家を招き、野菜などの販売を行った。（農家には販売するだけでなく、農業の現状などのお話などを積極的に行うように共有した）</p> <p>また、同時に「ひと・社・暮らし あまがえる」と協働し、コンポストワークショップを実施した。</p> <p>ファーマーズマーケットでの売れ残り野菜を加工し、保存食に変える実証実験をフルクシオ、（株）フードピクトと協働し行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：芦屋市民95000人。</li> <li>・主に未就学児、小学生の子どもを持つ約6000世帯の家庭。</li> <li>・芦屋市学校教育課、芦屋市子ども子育て推進課と協働し、市内の保育園、幼稚園、小学校の全生徒に8000枚のフライヤーを配布した。</li> </ul> <p>&lt;事前&gt;</p> <p>農家への搬入、搬出の連絡。公園所轄の芦屋市道路・公園課との調整をした。地元、自治会への事前連絡・説明した。</p> <p>&lt;当日&gt;</p> <p>警備員を配置した（出展農家が公園内に車で搬入するため安全確保）会場設営をした。</p> <p>ボランティアスタッフへの役割説明をした。</p> <p>主事業の地域ファーマーズマーケットとはコンポスト説明会の実施した</p> <p>&lt;事後&gt;</p> <p>農家へのアンケート集計をした</p> <p>撮影動画など事業をYOUTUBEなどで拡散をした。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	11	4	芦屋市民活動センター	ボランティアスタッフ説明会 フライヤー配布 8000 枚	7名	0名
		11	21	宮塚公園 (芦屋市)	ファーマーズマーケット コンポストワークショップ	10名 3名	1500 名
		11	21	フードピクト キッチン	ファーマーズマーケット 売れ残り野菜の保存食作り	6名	0名
目標の 達成状況	<p>開催回数&gt;1回&gt;&gt;達成</p> <p>参加目標人数&gt;3000人&gt;&gt;未達成だったが1500人程度の集客はできた。コロナの影響もあり、コロナ前の2000人の集客にも至らなかった。</p> <p>うちワークショップ参加者50人程度&gt;&gt;未達成15人の参加だった。</p>						
事業効果	<p>アウトカムとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加農家8団体、コンポストワークショップなどから「農」や「地産地消」や「持続可能な食のエコシステム」などの啓蒙活動を芦屋地域の親子を中心にできた。農業、食などの市民の意識変容が期待できる。</li> <li>ワークショップ参加の15人は全員自宅でもコンポストをスタートさせており、さらにこの活動が広がれば、市内のごみ削減に寄与できる。</li> </ul>						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>次年度は、年に1度ではなく回数を増やしイベントから日常へと変えていきたい。補助金での運営となってしまうが、本事業だけでは事業費をまかなうのが難しいため、関連別事業での収益事業をこの事業に当てたい。</p> <p>本格的にスタートしていくために、R4、1月に任意団体フライパン→NPO法人フライパンと法人化、登記を完了しています。</p>						

ファーマーズマーケット準備



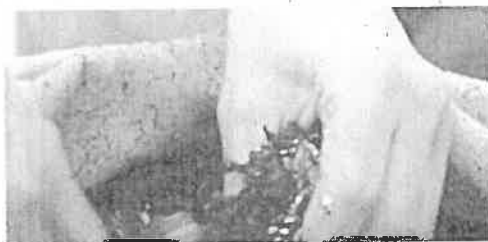
ファーマーズマーケットスタート前ミーティング



農家と地域住民の交流



コンポスト WS の様子



ファーマーズマーケットの様子



ファーマーズマーケットの終了後の保存食づくり





## 2-24 洋服で地域と人をつなごう

/tumugu

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>日本で年間48万トン焼却・埋め立て処分されている服を楽しくリサイクル・アップサイクルする。</p> <p>お店に回収BOXを設置してもらうことで気軽に多世代が参加しやすい環境にした。地域で次の人へ循環することでCO2の排出を抑えるとともに、地域住民の新たなつながりや楽しみを創出することを目的とした。</p>
事業内容	<p>1. 要らなくなった服の回収BOX設置(10/1~10/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のお店（イルマティーノ、豆桜、ケーキナチュラル、シルビコラ、バルーンバルーン、モコノ、ティーサロン ムジカ、パイクとそら、gram +、リオス 本店、リオス ラモール店）11店舗に協力してもらい、不要となった服を回収するBOXを置いてもらった。</li> <li>回収した服：約900枚</li> </ul> <p>2. ハロウィンパーティー開催(10/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100円フリマ</li> <li>誰かの不要となった服を次の必要とする人へ繋いだ。</li> <li>次の必要とする人の元へいった服:188枚 収益:18,800円</li> <li>パイクとそらの「笑顔のあげパンプロジェクト」へ全額寄付</li> <li>・仮装アクセサリづくりワークショップ</li> <li>ものづくりを通して、ものを大切にすることやアップサイクルに興味を持ってもらった。</li> <li>参加者数：24人（主に子ども）回収服の使用12枚</li> <li>・アップサイクルファッションショー</li> <li>モデルとなる子どもたちが要らなくなった服の中から好きな服を選び、ハロウィン衣装にアップサイクルしたファッションショー。当日飛び込みのランウェイ参加者もあり、より多くの人に参加できた。</li> <li>モデル参加者数：14人 当日ランウェイ参加者：4名 服の使用36枚</li> </ul>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数					
						スタッフ	参加者				
実施経過	R3	8	17	市内カフェ	メンバーとの打合せ	2	24				
			24	//	フライヤー打合せ	3					
			26	BOX設置店舗	回収BOX設置のお願い	4					
			31	//	回収BOX設置のお願い、 メンバー打合わせ	2					
			9	3	//	回収BOX設置のお願い		2			
				4	//	//		2			
				6	//	//		2			
				7	市内カフェ	打合せ		2			
				13	//	講師と打合せ		5			
				21	//	打合せ		2			
				28	リードあしや	フライヤー配布作業		5			
				10	29	BOX設置店舗		回収BOX設置作業	2		
					30	//		//	1		
					1	//		//	2		
					7	//		服の回収	2		
					10	//		//	2		
					13	コインランドリー		回収服の洗濯	2		
					14	BOX設置店舗		服の回収	2		
			15		//	//		2			
			16		//	//		2			
			17		市民センター	採寸会と衣装打合せ		4			
			18	BOX設置店舗	服の回収	2					
			19	//	//	3					
			22	//	//	1					
			27	//	//	2					
			28	コインランドリー	回収服の洗濯、回収	2					
			31	JR 芦屋駅前ペデ ストリアンデッキ	ハロウィンパーティー	10		250			
			目標の 達成状況	<p>3週間で900枚を超える捨てられてしまう服が回収でき、環境等の負担が少ない形状のまま次の人へリサイクルできる100円フリマで188枚、新たな価値を創出するファッションショーの衣装へ36枚ワークショップに材料として12枚の服を、合計236枚の服をアップサイクルできた。また、残った服と100円フリマの収益18,800円は全額、パイクとそらさんが行っている活動の母子生活支援関係者へ寄付した。自分たちだけの楽しみで終わらせることなく、地域の必要としている人へ紡ぐことができた。</p>							



<p>事業効果</p>	<p>236枚の服をリサイクル・アップサイクルでき、ゴミを削減した。市内の小学校・幼稚園・保育所と回収BOX設置協力店舗に7000枚のフライヤーを配布し、地域のお店11店舗に3週間回収BOX設置協力してもらうことで、子育て世代とお店の前を通る人や利用者する多世代にリサイクルやアップサイクルする意識を高めてもらえた。ファッションショーやワークショップでは子どもたちが新たな服やアクセサリになったのを見て、アップサイクルを学んでくれた。また、協力店から「地域貢献できてよかった」「従業員の意識が変わった」「服の提供をするために初めて入店下さる方もいらっしまった」「お客様と話すきっかけになってよかった」などお店にも良い効果があり、今後もこのような活動に協力したいと言っていた。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。) さらに服の提供してもらいやすいようなお店や施設を探すとともに回収の負担を減らす。年2回の役を終えた服の回収とフリマを開催し、服ゴミ0の地域を目指す。</p>

(添付書類)

事業実施状況を示す写真、チラシ等



兵庫県阪神南県民センター 県民交流室 県民・産業振興課

〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

TEL: 06-6481-4397 / FAX: 06-6482-0579